



東京浅草中央ロータリークラブ 週報

〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階
TEL. 03-3847-1111 FAX. 03-3847-0154 URL : http://www.asachu-rc.jp

2012 - 2013 年度テーマ

R.I. テーマ 「奉仕を通じて 平和を」 R.I. 会長 田中 作次
地区ガバナー 石川 正一
クラブテーマ 「クラブライフの充実で、ロータリーの魅力を語ろう!」
クラブ会長 原田 毅

本日の卓話

「炉辺会合報告」
各炉辺グループ代表者

今後の卓話予定

4/17 「食肉のあれこれ」 (株)食肉通信社 専務取締役 加藤泰三様
4/24 「21世紀を担う ろう児、難聴児にわたしたちができること」
NPO 法人しゅわえもん役員・立教大学日本手話兼任講師 野崎静枝様



2013年4月10日

第1309回例会

会長 原田 毅
幹事 宮村 義男



年間100%出席

植木 榮君 21回

小林 博君 17回

前回 (4/3 1308 回例会) の記録

来訪者紹介

◆ゲスト 1名 池袋西 R.C. 株式会社エリエイ 代表取締役 平井憲太郎 様
◆ビジター 3名 東京上野 R.C. 宮永武司 様・東京上野 R.C. 捧 永世 様
東京浅草 R.C. 坂 真太郎 様

出席報告

総会員数	休会	出席免除	出席	欠席	出席率	修正出席率
46名	2名	4名	36名	4名	90.00%	1306回例会修正 欠席2名・出席率95.24%

東日本大震災で被災された皆様に一日も早い平和と復興がおとずれますようにお祈り申し上げます。このような時こそ、我々ロータリアンは『五大奉仕』を実行・実践しましょう。明日の日本と世界はみんなの手の中に！

会長報告 <原田会長>

- ・4月は「ロータリー雑誌月間」です。
縦組み…国内のクラブの情報や教養的な記事 国内のロータリーの活動状況を知り、自クラブの委員会活動等の参考に出来る。
各地区大会での卓話（スピーチ）が大変参考になる。
- 横組み…RI（国際ロータリー）の指定記事、月間特集記事、世界のロータリアンの

共通事項に対する掲示から学ぶ。

例) 本年「ロータリーの友1月号」
「ロータリーの綱領」の日本語訳が「ロータリーの目的」と改定され、全体の文章を現代的な表現にし、理解しやすいものにするという事で、最終的に日本語翻訳改定案が承認された。（ロータリーの友 平成25年1月号・横組みP19参照）

幹事報告 <宮村幹事>

- ・本日例会終了後、第10回理事・役員会を開

催致します。理事・役員の出席をお願い致します。

委員会報告

<職業奉仕委員会 上原委員長>

- ・ 3月18日に北分区職業奉仕委員会がメトロポリタンホテルで開催され、宮村幹事と出席しました。各クラブから今年度の活動状況が活発に報告され、終了後、懇親を深めました。さらに、期末までにその活動報告書を作成との事。今後の参考になると思います。

<親睦委員会 高木委員長>

- ・ 4月6日の葉桜鑑賞バスツアーは8時半にビューホテルロビーに集合です。

<伊石次年度幹事>

- ・ 来たる4月10日(水)に次年度地区協議会が新宿ハイアットリージェンシー東京にて行われます。13:00登録開始ですので該当の方は出席願います。

ニコニコボックス

<東京上野RC 捧 永世様>

- ・ 久しぶりにお邪魔いたします。

<東京上野RC 宮永武司様>

- ・ 時々お邪魔します。今年もよろしくお願います。

<原田会長、宮村幹事>

- ・ 平井憲太郎さん、本日の卓話宜しくお願致します。

<斎藤、海内、関原、小林、立野、山尾、藤掛、古谷>

- ・ 平井憲太郎様、本日の卓話よろしくお願致します。

<山尾>

- ・ 捧さん、宮永さん、ようこそいらっしゃいました。上野クラブと違いお酒が用意できなくてすみません。

<松本>

- ・ 結婚記念日に花束を戴きまして、誠に有難うございました。

<天笠>

- ・ 古谷さん、新しい本社素晴らしいですね。日曜日に孫と後楽園で野球を楽しんできました。ありがとうございます。

<上原>

- ・ 俳画・水墨画の「雪秀会展」が浅草公会堂の展示ホールで開催されます。期間は4月5日から9日まで。ぜひお運び下さい。

<岩田>

- ・ 娘の小学校入学を機に、港区のマンションから国分寺市の一軒家に引っ越しました。まだダンボール箱に囲まれた生活ですが、心機一転がんばって参ります。

<後上>

- ・ 太田さん、海内さん、田村さん、お誕生日おめでとうございます。

<田村、海内、太田>

- ・ お誕生日のお祝い、ありがとうございます。

<炉辺 A班>

- ・ 炉辺会合の残金をニコニコ致します。

<後上、天笠、太田、山尾、中村、井田>

- ・ 長島茂雄氏、松井秀喜氏、国民栄誉賞おめでとう！

<太田、藤掛>

- ・ 悲しみや苦しみを乗り越え、復興の新たなステージへ、力強く踏み出よう!! がんばろう東日本。立ち上がれ、日本！

「フリーターからロータリアンへ」

～江戸川乱歩の生涯 孫から見た思い出を交えて～



池袋西R.C.

株式会社エリエイ 代表取締役

平井憲太郎様

1894（明治27）年 三重県名張町生まれ

- ・父繁男は名張郡役場の書記
- ・翌年6月、生後8ヶ月で亀山に転勤、転居
- ・1897（明治30）年 父の転職のため名古屋へ転居。以後1912年の中学卒業まで名古屋在住。
- ・1908～12年は父の事業が好調で豊かな暮らし。
- ・1912年父の事業が破綻し、八高進学を断念。苦学を覚悟して上京。早稲田大学予科に入学。

1916（大正5）年早稲田大学政経学部卒業

- ・大阪の商社に就職するも、1年と続かず。
- ・その後様々な職業を転々とし、また転居を繰り返す。
- ・転居は名張で生まれてから現在の池袋の家まで、合計46回と本人が記録している。

1923（大正12）年 雑誌新青年に「二銭銅貨」を
発表

- ・探偵小説に力を入れていた雑誌。
- ・当時の大家、小酒井不木の推薦を得る。
- ・同じ年に大阪毎日新聞広告部に就職。営業成績を上げ、多額の給与を得る。
- ・作家専業になる不安。

1926（大正15）年 東京に転居

- ・作家専業になる決意をして、上京。
- ・デビュー3年目にして、人気作家の地位を獲得。
- ・しかし、早くもアイデアの欠乏に悩む。

1927（昭和2）年 早稲田に下宿屋を開業

- ・筑陽館という下宿屋を買い取って、安定収入をはかり、妻に経営を任せる。翌年にはこれを売却してさらに大きい緑館を購入。
- ・タネ切れとなった本人は、休筆宣言をして6月から数ヶ月、日本海沿岸などを放浪。

1930～32年 長編で「虚名」ますます高まる

- ・「陰獣」、「一寸法師」、「孤島の鬼」、「蜘蛛男」…
- ・1932年には2度目の休筆
- ・土蔵を締め切って蠟燭の光で執筆するという伝説

が捏造。

1936年 怪人二十面相シリーズスタート

- ・少年ものに新しい道を発見。
- ・本人の想像以上の読者の支持。

1939年 時代の締め付けがますます厳しく

- ・1938年、新潮社から「江戸川乱歩選集」全10巻が発行される。
- ・1939年「芋虫」が、反戦的と言うことで前編削除の命令を受ける。
- ・1941年、旧作はすべて絶版となり、執筆依頼も途絶える。
- ・筆名を「小松龍之介」として、「知恵の一太郎ものがたり」を執筆。

1941年 貼雑年譜の製作を開始

- ・凡帳面で整理好き。
- ・執筆できなくなった時間を、自らの資料整理に。
- ・自らが生まれてからの詳細な記録。
- ・池袋北町会副会長となる。

1945年終戦前夜

- ・福島県保原に疎開
- ・食料公社職員に応募

1945年 終戦と同時に活動再開

- ・出版活動を再開した
- ・出版社の来訪しきり。
- ・旧作の再版・映画化が相次ぐ。
- ・英・米ミステリーの紹介。
- ・探偵小説というジャンルの確立に熱中。端点小説作家の地位向上を目指す。

1959年 東京池袋RC入会

- ・人嫌いだっただ乱歩は、戦中の経験から急速に社交的に。
- ・ジャンルの確立のために、「探偵作家クラブ」を組織、後に社団法人「日本推理作家協会」に
- ・作家という職業でロータリーに入会。